

住宅リフォーム助成制度の検討を

空き家リフォーム等住宅政策を優先に



稲留 光晴 議員

現段階では考えていない

町長

住宅リフォーム助成制度を前向きに検討する気はあるか。

定住促進事業を優先的にやっていく

町長

人口増加と活性化を図るために空き家の改修費に対し補助金を交付し、住宅を取得した時に補助金を交付する定住住宅補助事業に取り組んでいく。

耐震化住宅リフォーム補助事業が必要では

稲留議員

住宅の耐震化住宅リフォーム補助事業が必要だと思いがどうか。

熊本の地震における古い木造などの被害状況から、耐震化基準を国としても再度見直す意向にあるので、見解が示された段階で対応は必要と考える。

定住促進対策は

稲留議員

空き家実態調査の結果定住促進策をどうするか。

積極的に取り組む

町長

活用可能な空き家物件に係る情報収集や情報発信に積極的に取り組む。なお、66件の空き家所有者に空き家バンクを案内し、これまでに14人の登録申請があった。

住宅リフォーム助成 27年度実績と28年度予算

【空き家リフォーム】

自治体	H27実績		H28予算		波及効果(工事費)(円)	件数(件)	備考
	H27実績	H28予算	H27実績	H28予算			
鹿屋市	4951万8000	5050万			4億313万6000	297	【 】空き家リフォーム助成率は住宅リフォームと同等
垂水市	684万3000	750万			9095万8132	65	一般世帯は助成額は工事費の10%で15万
	(388万1000)	(450万)			(2638万7321)	(14)	()子育て世帯、助成額は工事費の30%で45万
	【4件】						【 】工事30万以上で50%助成で50万
志布志市	1000万	1000万			1億2000万	91	
							【250万・5件分】 【 】空き家リフォーム助成はH28年度5/9より50%助成で50万、5件分を予算化
曾於市	1106万3000	1800万			1億5285万4546	100	
							【500万・10件分】 【 】空き家リフォーム助成はH28年度から30%、上限50万円、10件分予算化
肝付町	890万8000	1500万			6631万8000	48	H26~H28期間
							【 】空き家バンク登録で、家財道具処分などについては、1/2の補助で10万円上限。

**大崎町の空き家数実態調査

・空き家総件数…987件 ・特定空き家候補…322件 ・居住可能…470件 ・リフォームで居住可能…195件

国保税の都道府県化の目的は何か

稲留議員

国保税の都道府県化をなぜするのか、目的は何か。

財政運営が県に移行

町長

市町村が国保財政運営をしてきている中で高齢化、非正規雇用、低所得の増加形態で厳しい運営のため県管理の声が上がっていた。

国の国保者支援1700億円のできた経緯は何か

稲留議員

国の保険者支援である1700億円のできた経緯は何か。

保険者の保険財政健全化のためである

保健福祉課長

毎年医療費が増大しているため、国保財政に充てて各保険者の保険財政の健全化を促すため創設された。

本町への支援金の額と充当先は

稲留議員

大崎町へのこの支援金額はいくらぐらいに充当したか。

27年度は3782万8千円で医療分に充当した

保健福祉課長

国保財政保険基金安定繰入金として一般会計で受け入れし、国保会計に繰出す。被保険者の低所得者の人数で交付されるものである。

保険料負担軽減に取り組むよう求める

稲留議員

一般会計からの繰入をしながら国からの交付金がなければ運営できない。本町も医療費が増えてきている。今後も被保険者の保険料負担軽減に取り組まれるよう求めるが、27年度から30年度にかけて一般会計からの繰入金額はいくらか。

27年度から28年度当初合計1億7千万円である

副町長

27年度は5千万円、追加7千万円で合計1億2千万円一般会計から繰入れした。28年度当初でまた5千万円計上している。